

金ヶ作中学校学習の指針（シラバス）

教科	美術科
----	-----

学年	1年生
----	-----

1 学習の目標

<p>(1) 色や形、材料や光などの性質やそれらがもたらす感情や効果について理解し、工夫して表現しましょう。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、豊かに発想し構想を練ったり、より深く美術に興味を持てるようにしましょう。</p> <p>(3) 表現する喜びや、美術を楽しむ心、感性豊かに生活していく態度を大切にできるようにしましょう。</p>
教科書・副教材等 開隆堂出版 美術上

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●ものづくりの基本 ・レタリング ・色彩についての学習 ・構成についての学習 ・一点透視図法 ・クロッキーに挑戦しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングとは何かを学び、「デザイン」について理解できる。 ・レタリングのやり方を学習する。実際に描いてみる活動を通じて画材の基本的な扱い方を覚える。 ・絵具を使って色彩の基本的な知識を学習し今後の制作に生かせるようにする。 ・スタンプを使って構成について基本的な知識を学習し今後の制作に生かせるようにする。 ・図形などを立体的に絵を描く方法を学ぶ。空間を認識する力を養う。 ・対象を素早く描写することでおおまかな形をとらえる力を養う。 ・仲間と楽しみながら表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具 ・色鉛筆 ・スケッチブック
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●作品を作ろう ・粘土で模型作り ・デッサンに挑戦 ・絵画の鑑賞 ・絵文字づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を立体的に表現することで、量感や色彩の表現を学ぶ。 ・粘土の扱いに慣れる。 ・陰影をつけて立体的に描く方法を学ぶ。 ・白黒の色の幅を使い分け、鉛筆での表現方法を学ぶ。 ・絵画を鑑賞する楽しさを学ぶ。絵の中に描かれたものをよく観察し、仲間と意見を交換することで、鑑賞の視点を広げる。 ・パソコンの機能を使って図形の組み合わせで単純化したものの表現を身に着ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土 ・スケッチブック

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な表現を学ぶ ・アニメーションを作ろう ・お菓子をプロデュース 	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの方法について学習し、絵やものに命を吹き込むことができる面白さを味わう。 ・ターゲット(相手)を設定し、その設定に合うお菓子のパッケージを色彩や造形を工夫してデザインすることができる。 	・スケッチ ブック
-------------	--	---	--------------

3 評価の観点・方法 (どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●色や形の持つ感情や効果を理解しているか。 ●自分の作りたい作品のイメージに合わせて工夫して表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができるか。 ●主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●創作活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の活動に取り組んでいる。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程 ・完成作品 ・授業中の気づき (発表・プリントの記入内容等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程 ・完成作品 ・授業中の気づき (発表・プリントの記入内容等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みの姿勢 ・授業中の気づき (発表・プリントの記入内容等)

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

絵を描くこと、工作のようなものを作るのが苦手な人でも、一生懸命な取り組みが大切です。自分なりに考えることやとにかく手を動かしてみることを心がけてください、何も浮かばない時、困ったときには手を挙げて呼んでください。一緒に考えましょう。

(2) ノートの作り方 (とり方)

ノートはありませんがスケッチブックに絵やアイデアを残しましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方 (予習、復習、宿題等)

①予習・・・常に心を動かしましょう。綺麗だと感じるものや心に残っているできごと、自分の好きな物を制作のヒントにするとよいでしょう。授業前日の持ち物の準備は忘れずに！

②復習・・・制作を振り返って頑張ったと思うところを見つけましょう。鑑賞で見つけた作品のいいところを覚えておいて今後の制作にいかせるとよいでしょう。

③宿題・・・長期休みに課題が出る場合があります。楽しんで取り組んでもらいたいと思います。

金ヶ作中学校学習の指針（シラバス）

教科	美術科
----	-----

学年	2年生
----	-----

1 学習の目標

<p>(1) 色や形、材料や光などの性質やそれらがもたらす感情や効果について理解し、意図に応じて工夫して表現しながら、自分の表現方法を追求しましょう。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する津見方や感じ方を広げましょう。</p> <p>(3) 表現する喜びや、美術を楽しむ心、感性豊かに生活していく態度を大切にできるようにしましょう。</p>
教科書・副教材等 開隆堂 美術下

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学 期	<p>●内面との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手のデッサン ・モダンテクニックと抽象表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生になった気持ちを、自分の手を使って表現する。 ・絵の具を用いた様々な技法を学ぶ。 ・抽象的な表現を、自分なりに読み解き作者の心情やそこに描かれている様子を解釈する。 ・色や形のもたらす効果を考えて表現し、自己の内面や、他者の表現と向き合い、想像力を働かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチブック ・絵の具
2 学 期	<p>●美術と身近なものとの関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土彫刻 ・焼き物 ・カード作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象をよく観察し、特徴をとらえて立体的に表現する。 ・四角い形を削り出して丸みを帯びた形にしていく。 ・生活の中での便利さや、素材の良さについて考える。 ・自分の生活の中で役立つ作品を制作する。 ・メッセージカード作りを通して気持ちの伝え方や相手が喜ぶ表現方法について考える。 ・紙を使った表現方法を学び、次年度の学習に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸粘土 ・紙 ・カッター
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・墨絵に挑戦しよう ・絵画の物語 	<ul style="list-style-type: none"> ・墨の色の濃淡や筆遣いによる線を味わい、自分なりの表現方法を探す。 ・絵画をよく観察して自分なりの解釈を深める。 ・描かれている内容をもとに、自分の考えたことを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習字道具

3 評価の観点・方法（どのような点が、どのような場面で評価されるか。）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●色や形の持つ感情や効果を理解している。 ●自分の作りたい作品のイメージに合わせて工夫して表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えることができる。 ●主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●創作活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程 ・完成作品 ・授業中の気づき（発表・プリントの記入内容等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程 ・完成作品 ・授業中の気づき（発表・プリントの記入内容等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みの姿勢 ・授業中の気づき（発表・プリントの記入内容等）

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

絵を描くこと、立体的なものを作るのが苦手な人でも、一生懸命な取り組みが大切です。自分なりに考えることやとにかく手を動かしてみることを心がけてください。何も浮かばない時、制作で困ったときには気軽に手を挙げて呼んでください。一緒に考えましょう！

(2) ノートの作り方（とり方）

ノートはありませんがスケッチブックに絵やアイデアを残しましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方（予習、復習、宿題等）

- ①予習・・・常に心を動かしましょう。綺麗だと感じるものや心に残っているできごと、自分の好きな物が制作でのヒントになるかもしれません。授業前日の持ち物の準備は忘れずに！
- ②復習・・・制作を振り返って頑張ったと思うところを見つけましょう。鑑賞で見つけた作品のいいところを覚えておいて今後の制作にいかせるとよいでしょう。
- ③宿題・・・長期休みに課題が出る場合があります。楽しんで取り組んでもらいたいと思います。

金ヶ作中学校学習の指針（シラバス）

教科	美術科
----	-----

学年	3年生
----	-----

1 学習の目標

<p>(1) 色や形、材料や光などの性質やそれらがもたらす感情や効果について理解し、意図に応じて工夫して表現しながら、自分の表現方法を追求しましょう。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する津見方や感じ方を広げましょう。</p> <p>(3) 表現する喜びや、美術を楽しむ心、感性豊かに生活していく態度を大切にできるようにしましょう。</p>
教科書・副教材等 開隆堂出版 美術下

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学 期	<p>●夢や理想のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空想の世界 (コラージュによる想像画) ・ポスター作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・想像力を膨らませ、夢や想像、感情などをもとに心の世界を描く。 ・伝えたいことを明確に、キャッチコピーやモチーフ、構成や色彩を総合的に考えて表現することができる。 	・写真、古雑誌等
2 学 期	<p>●卒業制作、未来の自分へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みちを照らす灯り (ランプシェードの制作) ・ロゴデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・円柱、四角柱、立方体、三角柱、三角錐のベースから形を発想しランプシェードのデザインを考える。 ・光と素材のひびきあいを考えながら制作する。 ・照らしたいものなど、自分なりの主題をもって制作する。 ・文字とそのイメージに合う形や色彩のデザインを考えることができる。 	・紙
3 学 期	<p>●人生をともにするアート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵画の物語 ・ゼンタングル 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画をよく観察して自分なりの解釈を深めることができる。 ・描かれている内容に基づいて、自分の感じたことを説明する。 ・仲間との会話を通じて解釈の幅を広げることができる。 ・模様的美しさを考えて制作することができる。 	

3 評価の観点・方法（どのような点が、どのような場面で評価されるか。）

観点	関心・意欲・態度	発想構想の能力	創造的な技能
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●色や形の持つ感情や効果を理解している。 ●自分の作りたい作品のイメージに合わせて工夫して表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えることができる。 ●主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●創作活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程 ・完成作品 ・授業中の気づき（発表・プリントの記入内容等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程 ・完成作品 ・授業中の気づき（発表・プリントの記入内容等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みの姿勢 ・授業中の気づき（発表・プリントの記入内容等）

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

絵を描くことや、立体的なものを作るのが苦手な人でも、一生懸命な取り組みが大切です。自分なりに考えることやとにかく手を動かしてみることを心がけてください。何も浮かばない時、制作で困ったときには気軽に手を挙げて呼んでください。一緒に考えましょう！

(2) ノートの作り方（とり方）

ノートはありませんがスケッチブックに絵やアイデアを残しましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方（予習、復習、宿題等）

- ①予習・・・常に心を動かしましょう。綺麗だと感じるものや心に残っているできごと、自分の好きな物が制作でのヒントになるかもしれません。授業前日の持ち物の準備は忘れずに！
- ②復習・・・制作を振り返って頑張ったと思うところを見つけましょう。鑑賞で見つけた作品のいいところを覚えておいて今後の制作にいかせるとよいでしょう。
- ③宿題・・・長期休みに課題が出る場合があります。楽しんで取り組んでもらいたいと思います。